

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	労働安全衛生融資資金利子補給金		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度開始		担当課室	労働衛生課		椎葉 茂樹		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人労働者健康福祉機構法附則第3条第3項		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人労働者健康福祉機構法附則第3条第3項に基づき、残存する貸付債権の管理・回収業務、金融機関からの借入金の償還業務を行っており、その利息補助及び貸倒償却の補填を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	資金的な問題により労働災害の防止措置を十分に果たせない中小企業に対して、事業者が行う労働災害防止の基盤、環境を整備する努力を側面から援助するため、資金を長期かつ低利で事業者に融資してきたが、平成13年12月19日の閣議決定「特殊法人等整理合理化計画」において、当該融資制度を廃止した。 現在残存する貸付債権の管理・回収業務、金融機関からの償還業務を行っている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	100	228	95	185	206	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	100	228	95	185	206	
	執行額	62	179	51				
執行率(%)	62	79	54					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	正常債権の弁済計画に基づいた年度回収目標額189百万円を回収する。		成果実績	百万円	853	426	557	189
			達成度	%	173	141	191	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	求償可能なものについて最大限確実な回収を図るため、取扱金融機関と連携して弁済計画書の提出督促、弁済督促を行う。 (独法で設定した目標に数値設定がなされていないため、定量的な評価は不可能)		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
単位当たりコスト	・民間借入補助分 228,027(円/件) ・貸倒償却分 38,895,000(円/件)		算出根拠	・民間借入補助分 17,102千円/75件(22年度末時点での残債権数) = 228,027円 ・貸倒償却分 77,791千円/2件(22年度補助金での貸倒償却債権件数) = 38,895,000円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	補助金	185	206	民間借入補助及び貸倒償却の増				
計	185	206						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>22年度においては、引き続き厳しい経済状況の中にあっても、貸付金の回収が当初見込みよりも大幅に大きく、確実な債権回収を行ったところであるが、不良債権化し、貸倒引当金として補助金措置することが必要となる債権が今後増加することが見込まれるところである。今後とも、引き続き確実な債権管理・回収に努めることにより、単位あたりコストの削減に取り組む。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>労働安全衛生融資資金利子補給金については、可能な限り事業の効率的な実施に努めたうえ、予算規模については維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>債権管理に必要な経費を計上したものであり、縮減は困難</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

労働安全衛生融資資金利子補給金

厚生労働省
(51百万円(平成22年度精算額))

〔 事業管理、受託者への指導 〕



【労働安全衛生融資資金利子補給金】

(独)労働者健康福祉機構
(51百万円(平成22年度精算額))

〔 労働災害防止措置を果たせない中小企業に対して援助するため、資金を融資してきたが、平成13年12月19日において、当該融資制度を廃止したことを受けて、現存する貸付債権の管理・回収業務、金融機関からの償還業務を実施。 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	民間金融機関借入利息補助	-26			
補助金	貸倒債権償却補助	77			
計		51	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)労働者健康福祉機構	貸付金債権の管理・回収	51	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					